

のなごま
のなごま
のなごま

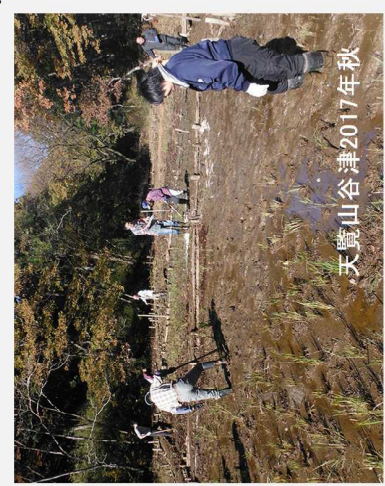


●尾根道から南に折れて、細い雑木林の中の道を下って谷津に出ると、明るい開けた草地の中に白い花穂をなびかせて、オカトラノオが群生していました。●オカトラノオは平地から低い山地の日当たりのよい草地や道端に見られる多年草です。茎はまっすぐ立ち上がり、多数の卵形の葉をつけます。茎の先端に長さ十五センチ前後の花穂をつけ、多数の花を咲かせます。花穂は途中で横向きに曲がっているのが特徴で、近い種のヌマトラノオと見分けるのに役立ちます。葉や茎には短い毛があり、地下に細長い地下茎が多数あります。これを伸ばしてふえていくため群生しているのが普通です。高さは、五十センチから一〇〇センチ。葉は茎に互生し、花期は六月から七月です。日本では北海道、本州、四国、九州に、アジアでは朝鮮半島、中国に分布し、山野の日当たりのよい草原に自生しています。●昔は救荒植物（他に食べるものが無い時にもみ食用とする）として利用されていたそうです。●房状に細長く花を咲かせる姿を虎の尾に見立てたそうですが、英語ではこの姿をカチヨウの音に見立ててグースネックと呼び名が変わります。

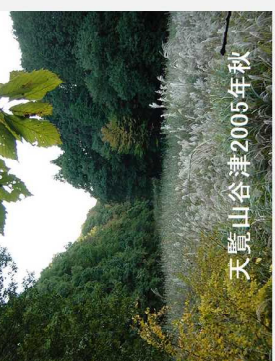
花言葉：優しい風情・清純な恋・忠実・貞操
オカトラノオ：丘虎の尾
英名：Gooseneck loosestrife
学名：Lysimachia clethroides
双子葉植物 シシ目 サクラソウ科
オカトラノオ 属 オカトラノオ
ひるがおやあたかもとらの尾を踏みて
幸田露伴
森人(モリノチヲ)



散策路の整備がされている。また、他地域へのトレイルとしての遊歩道整備、散策マップづくりが進んでいる。



天覧山谷津2017年秋



天覧山谷津2005年秋

4) 散策路の整備を提案するゾーン
○ 散策路の整備を提案するゾーンの提案→既存の散策路(山道)については、飯能市観光・エコツアーリズム課等によって、案内板も含め整備がされている。また、他地域へのトレイルとしての遊歩道整備、散策マップづくりが進んでいる。

3) 史跡など、その修景維持の必要なゾーン
○ 現在まで留められている里山の地形の保存→ほとんどが景観緑地に指定され、地形の改変等行う場合は届出が必要。これまで改変は見受けられない。四季折々の自然景観と歴史・民俗的景観の保全→元々自生する草木を大切にしたい思いから、サクラなど特定した樹種のみを植林することは避けていく。

○ 森林を荒廃させない手入れの継続→土地所有者により適宜景観間伐を実施。しかし、多様な市民ボランティアによる整備が行なわれており、考え方の共有が急務。
○ 谷津田の再生、森林保全体験等、里山文化継承のための環境教育の充実→田んぼづくり、ピオトーブ池の整備など、谷津田が再生され、小学校児童らによる稲作体験やエコツアーによる里山環境学習体験が出来る。また、飯能市立郷土館が博物館となり、ピジターセーター的役割を担うようになり、植物のハンドブックも作られた。

2) 人の手を入れる保全活用ゾーン
○ 森林を荒廃させない手入れの継続→土地所有者により適宜景観間伐を実施。しかし、多様な市民ボランティアによる整備が行なわれており、考え方の共有が急務。
○ 谷津田の再生、森林保全体験等、里山文化継承のための環境教育の充実→田んぼづくり、ピオトーブ池の整備など、谷津田が再生され、小学校児童らによる稲作体験やエコツアーによる里山環境学習体験が出来る。また、飯能市立郷土館が博物館となり、ピジターセーター的役割を担うようになり、植物のハンドブックも作られた。



また、天覧山から多峯主山一帯に大規模住宅分譲地開発計画が進行している最中(2007年)に、この里山を市民公園として保全する提案(やませみ39号)をしていきました。(翌年、開発計画の中止が発表)その後、てんたの会では更に議論を重ね、イメージとして「多様な森(落葉樹林、松林、照葉樹林)を背景とした明るい里山(森、水辺、農地)の再生」という方向性で検討し、ほんのう市民環境会議や市・西武鉄道との懇話会を通して、こうした提案の実現を働きかけてきました。それを検証してみたいと思います。

天多里山保全構想を検証してみました!



Information

小里散歩&イベント

天覧山周辺の自然に親しめる小里散歩へ行ってご参加ください

■7/24(土)「夏の夜のいきもの観察」の巻
コウモリ飛翔、灯りに集まるヤモリ、セミの羽化などを観察すると、新鮮な驚きでいっぱい。
集合：能工寺山門 18:30 解散20:30頃
持ち物：飲み物、長ズボン、運動靴(短パン・サンダル禁止)、ズナク
参加費：大人300円(子ども100円)定員10名
★雨天中止

■8/8(日)「名栗川を歩いて発見」の巻
炎天下でも川の中は涼しい別世界。吾妻渓谷まで歩きながら、水生生物を観察しましょう。
集合：飯能市立博物館ロビー 9:30 解散13:00頃
持ち物：弁当、飲み物、帽子、筆記用具、山道を歩ける服装、ズナク
参加費：大人300円(子ども100円)定員10名
★雨天・増水時は中止又はコース変更有り

■9/12(日)「秋の野草観察会」の巻
秋は野草の花が一番多い季節。秋の気配を感じながら天覧山周辺を散策します。
集合：飯能市立博物館ロビー 9:30 解散14:00頃
持ち物：弁当、飲み物、帽子、筆記用具、山道を歩ける服装、ズナク
参加費：大人300円(子ども100円)定員10名
★雨天中止

■10/24(日)「天覧山麓で「かい掘りするぞー」の巻
東谷津のホトゾクワが盛り上がり続けるように、池のかい掘りと水辺整備をします。どんな生き物に会えるかな。お昼はみんなでお昼ごはんをつくって食べます。
集合：飯能市立博物館ロビー 9:30 解散14:00頃
定員：10名先着順
持ち物：帽子、タオル、長靴、濡れた場合の着替え、飲み物、ズナク
参加費：飯能市エコツアーとして検討中★雨天中止

■11/9(日)「冬のいきもの観察」の巻
冬は実は生き物観察に最適な季節。昆虫の越冬観察、調査し、バーチャルツアーなどを行います。
集合：飯能市立博物館ロビー 9:30 解散14:00頃
持ち物：弁当、飲み物、筆記用具、山道を歩ける服装、あれば双眼鏡、ズナク
参加費：大人300円(子ども100円)定員10名
★雨天中止

【10.11月以外各回共通 共催：(公財)埼玉県生態系保護協会飯能支部】
すべて要申込みです。新型コロナウイルス対策等により中止等の可能性があります。
申込先：てんたの会 ☎042-974-1691
tentata@tenzan.net (浅野) *11月を除く



NPQ法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会 (略称てんたの会) 会報

やませみ No.83 2021.6.1

- 天多里山保全構想を検証してみました!
- 東谷津トラスト地(ほとけどじょうの里)の生き物
- てんたの会向け天覧山・多峯主山の歩き方
- てんたの活動情報
- てんたのなかま
- ふる里散歩&イベント

1995年、巨大住宅団地開発の計画がきっかけで発見した「NPQ法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会」は、この地の自然をいつまでもという思いで、様々な活動を行っています。どうぞお気軽にご参加ください。
● 正会員・・・ 2000円
● 賛助会員・・・ 1000円
● 特別会員・・・ 500円
● 特別賛助会員・・・ 10000円
● 特別寄付金・・・ 任意
※ 会費・カンパは先払い、郵便振替口座 00580-9-16342 「NPQ」の法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会!

やませみ No.83
発行日◆2021年6月1日
編集・発行◆天覧山・多峯主山の自然を守る会
NPQ法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会
〒350-0104 埼玉県飯能市南町19-1-17
イラスビルディング◆石間真由香・森人(もりんちヲ)



http://www.tenzan.net/ tentata@tenzan.net
● やませみへのご意見・ご要望は上記アドレスでお寄せください。掲載もお待ちしています。
(2019年秋に発行予定)ご要望は上記アドレスでお寄せください。

